

「私たちの生活と経済」

日比崎 ふしぎ発見 Part II ～ 瀬戸内レモンの魅力に迫る！！ ～

本単元で育成する資質・能力

(教科) 社会科 (学校) 表現力, コミュニケーション能力, 主体性

- 1 日時 平成30年11月16日 14:35～15:25
- 2 学年 第3学年3組 (男子17名 女子21名 合計38名)
- 3 場所 3年3組教室
- 4 単元について

○ 本単元は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説の公民的分野の内容B「私たちと経済」の(1)「市場の働きと経済」の(イ)「市場経済の基本的な考え方について理解すること。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解すること。」を受けて構成されたものである。ここでは、経済活動の意義について消費生活を中心に理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方や現代の生産の仕組みについて理解させることを主なねらいとしている。

まず、生徒が日常的に行っているモノやサービスを購入し消費するという消費活動を、経済活動として認識させ、その意義を理解させる。そして、需要と供給との関係による価格の変動と市場経済の仕組みから、市場経済の基本的な考え方を学び、資本主義経済に対する理解を深めていくことが必要である。

本時の学習内容は、導入部分に当たり、1学年の総合的な学習の時間で学んだ内容や家庭科の授業で学習した内容を関連付けることで、学習活動を活発にして深い学びへとつなげていくことが必要である。また、市場の経済活動の見方や考え方に気付かせることが出来るように展開したいと考えている。

○ 本学級の生徒は、男子17名、女子21名の学級である。授業中は、活発に活動し意欲的に参加することができている。班活動を通じて資料を読み取り、班員と考察し、それをまとめて表現する、という場面のある授業を得意としている。以下の表は、6月と11月に実施したアンケートの結果である。

		あてはまる						あてはまらない					
		よく		やや		計		計		あまり		まったく	
		6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月
課題設定	授業では、解決しようとする課題について、「たぶんこうではないか」、「こうすればできるのではないか」と予想しています。	21.4	19.8	52.4	60.4	73.8	80.2	23.3	19.8	2.9	16.2	26.2	3.6
情報の収集	授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。	5.8	21.3	21.4	50.9	27.2	72.2	52.4	27.8	20.4	22.2	72.8	5.6
	授業では、課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるかを考えています。	10.7	13.2	33.0	49.1	43.7	62.3	45.6	37.7	10.7	33.0	56.3	4.7
その他	授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	34.0	37.2	45.6	47.1	79.6	84.3	18.4	15.7	1.9	11.4	20.4	4.3

この結果から、生徒にとっては「解決しようとする課題について予想することや、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりすること」は、得意な活動となり、「課題を解決するために、進んで資料を集め情報を収集すること」についても、経験を積むことで苦手意識がなくなり改善されていると考えられる。一方で、約3割の生徒が、「情報の収集」を得意と捉え学習することができていない。そのため、本単元においても班活動を用いても、「情報の収集」した内容を表現できる場面を多く設定していこうと考えている。

○ 指導に当たっては、他教科との関連性を通じて、経済に関する関心を高めさせ、市場経済の基本的な考え方について、気づかせるようにする。学習課題を提示することで、「なぜだろう」と疑問を抱かせるとともに、生徒の思考を「ゆさぶり」より深い学びにしたいと考えている。

展開部分では、資料から情報を収集し更にそれを活用して考察する場面を設ける。話し合いによる、対立と合意の中から導き出された内容を、グルーピングとラベリングすることで、話し合いを再構築させて、より深い学びへと進化させたいと考えている。

根拠を明確にしながらか述べさせることで、本校が目指している表現力・コミュニケーション能力の育成を図る。これらの学習全体が、生徒にとっては「主体的な学び」であり、指導者としても授業のねらいが確実に達成できると考える。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力，コミュニケーション能力主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科，領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本題材においても、「解決したい」或いは「達成したい」学習課題を設定し、学習班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

	資質・能力	レベル1	レベル2	レベル3
知識・スキル	授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）			
	表現力・コミュニケーション能力	（話す） 自分の考えや意見を，自分のことばで，表現することができる。	わかりやすく（伝える） 自分の考えや意見を，わかりやすくまとめ，自分のことばで，表現することができる。	（説得する） 自分の考えや意見を，わかりやすくまとめ，目的や場に応じて，適切な方法で，表現することができる。
		（聞く） 相づちを打ちながら，途中で口をはさまず，聞いている。	（聴く） 話の組み立て構造を考えながら，相手の意図や要点を整理しながら，聴くことができる。	（訊く） 相手の考えについて根拠の信頼性を判断しながら，訊くことができる。話された内容と自分の意見をふまえて疑問点を明確にし，相手にたずねることができる。
		聞いて質問することができる。 （やりとり1回）	さらに深めた質問ができる。 （やりとり2回）	質問の後に自分の意見を述べ，内容を深めることができる。 （やりとり3回以上）
意欲・態度	主体性	課題に対して，自分の考えを持ち，取り組もうとしている。	課題に対して，自分の考えを持ち，自ら進んで，取り組もうとしている。	自ら課題を見つけ，自分の考えを持ち，よりよい方法を選択し，自ら進んで，取り組もうとしている。

6 単元目標

○身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。

7 観点別評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・経済活動の意義について関心が高まっている。	・経済活動の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・収集した資料の中から、経済活動の意義についての学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・経済活動の意義が人間の生活の維持・向上にあり、経済は生活のための手段にほかならないこと、市場経済においては、価格には人的・物的資源を効率よく配分する働きがあることを理解し、その知識を身につける。

8 指導計画（全7時間）

過程	次	学習内容（時数）	観 点				評 価 計 画	
			関・意・態	思・判・表	技能	知・理	評価	資質・能力（評価方法）
プロローグ（単元を貫く問い）			豊かな暮らしに必要なものを、探し出せ。					
課題の設定	1	経済活動とお金の役割 （1時間）	◎				身のまわりにあるさまざまなお金の行方や、お金の使い方についての関心を高め、個人の経済活動について考えようとしている。	【関心・意欲・態度】 （発表・行動観察）
情報収集	2	「ものの価格の決め方」 （1時間）			◎		日常生活のなかから、資源の効率的な配分を行っている事例を見つけ出し、その事例に関する資料を収集し、まとめることができる。	【技能】 （ワークシート）
	3	「価格のもつ意味」 （1時間）	◎				ものの値段の決め方に関心を持ち、市場価格決定のしくみを意欲的に追求しようとしている。	【関心・意欲・態度】 （発表・行動観察）
整理・分析	4	「なぜ、価格の高いレモンが売れるのだろう。」 （1時間） 【本時1／1】		◎			既習事項を活用し、具体的な商品を取り上げて付加価値のある商品が売れる理由を考え、説明することができる。	【思考・判断・表現】 【コミュニケーション能力】 （ワークシート）
まとめ・創造	5	家計の収入と支出 （1時間）	◎				家計が果たす役割について、財やサービスの供給や、消費や貯蓄との関わりから理解している。	【関心・意欲・態度】 （ワークシート）

単元を貫く問い

表現	6	消費生活と流通とのかかわり (1時間)	◎		生産された商品が消費者の手元に届くまでの流通経路や、さまざまな流通のしくみについて理解し、その知識を身につける。	【思考・判断・表現】 (ワークシート)
実行・振り返り	7	消費者を支える政府の取り組み (1時間)	◎		消費者の4つの権利、消費者基本法、消費者庁設立など、消費者を守る法律や制度に対する取り組みの具体例について、わかりやすくまとめる。	【技能】 (ワークシート)
エピローグ (単元を貫く問いの解決) 消費行動を通じて、豊かな暮らす方法を学ぶことができた。						

9 単元の展開

(1) 本時の目標

- 身近な事例や、総合の時間や家庭科などの様々な学習活動を通して、経済に対する関心を高め、消費生活の在り方や消費者の視点で考えることができる。
- 消費者は、生産者の視点に立って、消費生活を行うことで「かしこい」消費者としての行動を身につけることができる。

(2) 本時の評価規準

- 瀬戸田のレモンと外国産のレモンの価格の変動について関心を持ち、意欲的に発表することができる。(思考・判断・表現力)
- 瀬戸田のレモンと外国産のレモンの価格について、さまざまな資料の関連付けから読み取っている。(技能)

(3) 本時の目標

- これまでの経済学習などを活用し、価格の変動について関心を持ち、「需要」と「供給」の言葉を用いて説明することができる。(思考・判断・表現)
- 価格に関わる生産・消費について、さまざまな資料を読み取り、まとめた内容をキーワード化することができる。(技能)

(3) 準備物

- TV, ホワイトボード, ホワイトボード黒板

(4) 学習の流れ (4時間目/全7時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準 [観点] ★資質・能力 (評価方法)
1 既習事項の確認。[5分]		
・スライドを見る。	◇1年次に学習したスライドから興味を引き出し、動機付けを行う。 ◇フィールドワークのスライドを流し、現地で感じた疑問を問いかける。 ◆クイズ形式で、興味を引くように、発問内容を工夫する。	

2 本時の課題を設定する。[5分] 導入の工夫

<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸田レモンと外国産のレモンの違いを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇2つのレモンは、どんな点がちがうのだろう。(予想) <ul style="list-style-type: none"> ・味が違う。 ・味が良い方は高い ・購入した場所が違う。 ・瀬戸田のレモンは価格が高い ◆キーワードを用意し、ヒントを与える。
---	---

3 ねらいを確認する。[5分]

<ul style="list-style-type: none"> 今日の学習内容を知る。 資料1を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇瀬戸田のレモンが売れている実態を示す。
--	--

ねらい
レモンの価格の決定方法について、資料をもとに説明することができる。

4 情報を整理・分析し、課題解決をする。[15分]

<ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに、価格の高い瀬戸田のレモンが売れる理由を考える。(グループ活動) 資料2を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇瀬戸田のレモンが高くても売れるのはどうしてだろう。 ◇瀬戸田のレモンの資料を用いて説明ができるようにする。 	<p>[観点] 思考・判断・表現 (評価方法) ホワイトボード</p>
---	---	---

学習課題①
なぜ、瀬戸田レモンは、6月～9月が高いのだろう。

・資料3を提示する。

発表例

- ・瀬戸田のレモンの取扱量が減少するため、価格が高くなる。
- ・取扱量が減少するので、希少価値があがり高くなる。

<ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに、瀬戸田のレモンと外国産レモンの価格に大きな差がない理由を考える。(グループ活動) 資料4・5を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇外国産のレモンの資料を用いて説明ができるようにする。
--	---

学習課題②
なぜ、瀬戸田レモンと外国産のレモンは、価格に大きな差はないのだろう。

5 課題解決について発表をする。[10分]

・発表を聞く。

発表例

- ・外国産のレモンは、需要量と供給量のバランスが安定しているため、価格も一定を保つことができる。
- ・外国産のレモンは、端境期を避けて輸入しているため、価格が安定している。

6 学習のまとめをする。[5分] 思考を深める学び合い	
<ul style="list-style-type: none"> 発表した内容をまとめて、キーワードを抽出し、グループ化する。 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>キーワード</p> <p>安定, 供給, ブランド化, 価格</p> </div>

7 本時を振り返り、次時につなげる。[5分]	
<ul style="list-style-type: none"> ワークシートにまとめと本時の振り返りを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇本時の学習課題にそった振り返りを行うように促す。 ◇書き出しを提示し、文章での記述を手助けする。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>生徒の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸田のレモンは、夏場を取扱量が減少するため、希少価値があり価格が上がるのがわかった。 ・瀬戸田のレモンは、価格が高くても安定して販売するための工夫をしているのがわかった。 ・外国産のレモンは、供給量が安定している時期に輸入し、価格変動を安定していることが分かった。 </div>	

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度(評点・レベル)	記述語
A (理想的)	瀬戸田レモンと外国産のレモンは、需要と供給のバランスによって価格が決定されている。そのため、瀬戸田のレモンは取扱量の少ない月に価格が上がり、外国産のレモンは、需要と供給のバランスを保つことで、価格を安定することができる。
B (合格)	瀬戸内レモンは、取扱量の少ない時期に価格が上がり、外国産のレモンは、価格を一定に保って販売することができている。
C (乗り越えさせたい実態)	瀬戸内レモンと外国産のレモンの価格の違いについて、理解することができた。

(5) 板書計画

単元：市場経済

ねらい：レモンの価格の決定方法について、資料をもとに説明することができる。

学習課題②「なぜ、瀬戸田レモンと外国産のレモンは、価格に大きな差はないのだろう。」

ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード
ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード	

単元：市場経済

ねらい：レモンの価格の決定方法について、資料をもとに説明することができる。

学習課題①「なぜ、瀬戸田レモンは、6月～9月が高いのだろう。」

--

--

資料1の掲示

資料1に対する 発表のまとめ

--

--

